



地方議会からのビッグ・ウェーブ

私たちが一昨年から取りくんできた地方議会における「肝硬変・肝がん患者への医療・生活支援の拡充を求める意見書」運動でも、41 都道府県・20 政令指定市を含む 897 の自治体で意見書が採択され、その住民人口は 1 億 1970 万人を超えました。



▲意見書を採択した市町村議会を代表して、東京都羽村市議会議員 石居尚郎先生からご挨拶をいただきました（上）。

◀ご出席いただいた 53 人の地方議員の先生方からお一人ずつ、力強いご挨拶をいただきました（左上、左）。

ご出席いただいた国会議員のみなさま

小田原潔 衆議院議員（自由民主党）、田中和徳 衆議院議員（自由民主党）、
長尾敬 衆議院議員（自由民主党）、保岡興治 衆議院議員（自由民主党、代理）、
吉川貴盛 衆議院議員（自由民主党、代理）、
榊屋敬悟 衆議院議員（公明党）、
逢坂誠二 衆議院議員（民主党）、佐々木隆博 衆議院議員（民主党）、
川田龍平 参議院議員（維新の党）
小池晃 参議院議員（日本共産党）、堀内照文 衆議院議員（日本共産党、代理）、
福島みずほ 参議院議員（社民党）

（各政党ごと五〇音順）

オールジャパン肝炎サポート大集会 Part2 ニュース

主催：全国B型肝炎訴訟原告団・弁護士 協賛：日本肝臓病患者団体協議会、薬害肝炎全国原告団・弁護士
連絡先 法学館法律事務所（TEL03-3462-8051）全国B型肝炎訴訟弁護士 横山恵美子
平成 27 年 6 月 2 日 発行

オール
ジャパン
肝炎サ
ポート
大集会
Part2



すべてのウイルス性
肝がん・肝硬変患者に
医療費の助成を。



6月1日、患者と家族、肝炎サポート議員など、1200人が東京国際フォーラムに集まりました。

ウイルス性肝炎患者の未来をひらく私たち。



昨年をこえる1200人の参加で大成功!

昨日(6月1日)、東京国際フォーラムにおいて、オールジャパン肝炎サポート大集会Part 2が、1200人の参加で盛況のうちに成功いたしました。「オールジャパンでウイルス性肝炎患者をサポートしよう」という精神のとおり、東京都議会議員・神奈川県議会議員をはじめとして、53人の都道県議会・区市町村議会議員の先生方がご出席くださり、熱い肝炎サポートのエールを送ってくださいました。



▲シンポジストの高木けい氏(左)、町亞聖氏(右)。

運動の意義を再確認したシンポジウム

大集会のメイン企画であるシンポジウムでは、私たち主催・協賛の3団体のメンバーのほか、東京都議会自由民主党政務調査会長の高木けい氏や、厚労行政に詳しいジャーナリストの町亞聖氏にもご参加いただきました。肝炎対策の前進のためには患者自身の社会への働きかけが最も大切であること、議員と住民が協力しながら、肝炎対策をはじめ住民にとって切実な課題を解決していくことの重要性が明らかになりました。



▲会場で紹介された「40自治体決議の男」原告の伊藤さん(左)と、お世話になった元三鷹市議会議員 緒方一郎様(右)。

感動のフィナーレ

会場には、全国各地の国会議員・地方議員の先生方が署名してくださったオレンジフラッグが1284枚も集結し、大集会の最後には客席の参加者と壇上の地方議員の先生方が一体となって、オレンジ色となった会場の中で、肝炎サポートのあらたなテーマソング「生きてるここち」を作曲者のもりばやしみほさんと一緒に歌い上げました。



▲意見書を採択していただいた東京都議会議員 高島なおき先生、神奈川県議会議員 土井りゅうすけ先生からのご挨拶をいただきました。



▲ご挨拶をいただいた国会議員の先生方。中央が榎屋敬悟衆議院議員(公明)、左が川田龍平参議院議員(維新)、右が福島みずほ参議院議員(社民)。

各党国会議員の先生も激励に

大集会には、自民、公明、民主、維新、共産、社民 各党の国会議員の先生方が代理出席を含めて12人参加されました。榎屋敬吾先生、川田龍平先生、福島みずほ先生からは、国会においても医療費助成問題に「いよいよとりくんでいく」との決意が語られました。

